



感情がわかる。
明日が変わる。

眉尻が下がる

目尻にシワができる

口角が上がる



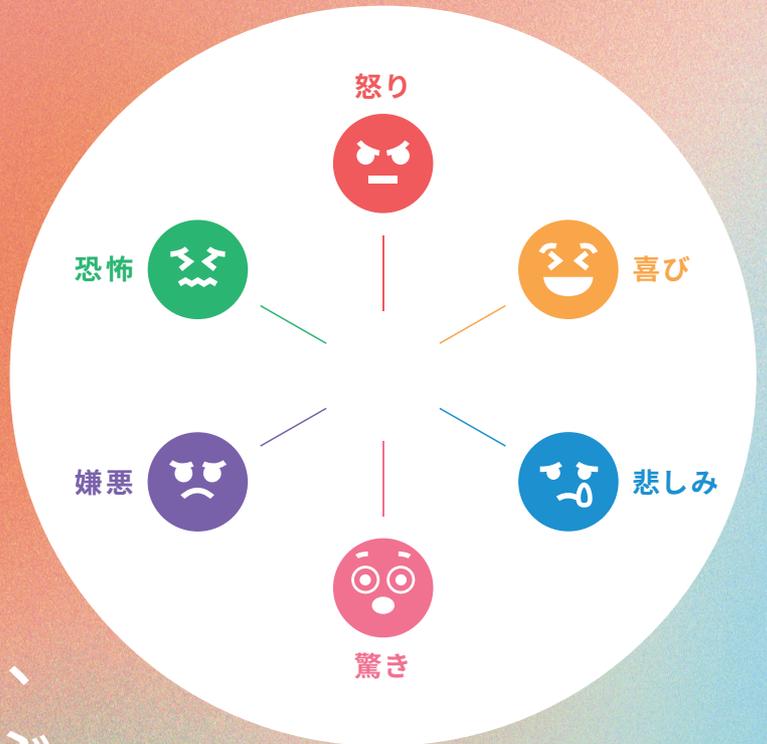
FACE DUO

感情認知トレーニング

良好な人間関係を築く能力を育てる、専門医監修の感情を学ぶトレーニングプログラム

「6つの基本感情」をVRで学ぶ 精神科専門医監修のプログラム

人間の基本感情と言われている
「怒り」「喜び」「悲しみ」「驚き」
「嫌悪」「恐怖」を学ぶ
「FACE DUO 感情認知トレーニング」。
VR技術を用いた、
臨場感のあるリアルな映像で、
日常生活のさまざまな場面を体験。
安心して繰り返し学習することが可能です。



「4つのステップ」で、 感情を段階的に学ぶ

それぞれの基本感情について4つのステップで学んでいきます。
1回のセッションで一つのステップを学習し、計4回のセッションが行われます。

Step

A

感情を表す「言葉」を学ぶ

感情の機能や、
感情を表す言葉の種類・強度などを学びます。

Step

B

感情の「表情」を学ぶ

感情を表す「表情」の特徴を、
眉・目・口などに注目して学びます。

Step

C

感情の「声・仕草」を学ぶ

感情を表す特徴が、
声や仕草にどのように表れるかを学びます。

Step

D

感情への「共感」を学ぶ

相手の感情に合わせて「共感」を示すために、
どのような声かけをすれば良いかを学びます。

相手の感情を読む力を鍛える 「感情認知トレーニング」

感情認知トレーニングの目的は、「より良好な対人関係を築くための能力を育てること」。

良好な対人関係は、相手がどんな感情でいるかに気が付くことから始まります。

本トレーニングでは、「相手の感情を推測する」方法や「相手の感情に合わせた対応をする」方法を学ぶことで、良い対人関係を築くための基盤をつくっていきます。

経験の少ないスタッフでも実施しやすい オールインワン・パッケージ

リアルな場面体験ができるVRコンテンツに加え、支援者用の「活用の手引き」、学習者用の「ワークシート」など経験の少ないスタッフでも支援が可能となるサポートツールが充実しています。



「感情認知トレーニング」はこんな場面でご活用いただけます

本トレーニングは、「良好な人間関係を築きたい」と考えている全ての方にご利用いただけます。

状況や目的に合わせて、さまざまな学習者の方の支援にお役立てください。



訪問看護利用中の
患者さん



精神科を利用中の
患者さん



デイケア、作業療法利用中の
患者さん



就労支援利用中の
患者さん

目的
社会的な関わりを始める

普段あまり人との関わりがない方が、
人と関わることへの苦手意識を克服するの
に役立つ可能性があります。

目的
対人関係の関わりを上げる

関わりを向上させたい方が、結果として、
長く親密につき合える相手ができたり、
仕事を円滑に進めるために役立つ可能性があります。

目的
社会的な関わりを支援する

「体験する」「推測する」「共感する」。確かな

学習者が楽しみながら取り組める、 VR内の世界観とコンテンツ

VRセラピストが、VR内の進行を担当。グラフィックや効果音など、ゲーミフィケーションを取り入れ、学習者が飽きることなく、楽しみながら前向きにトレーニングに臨める空間を設計しました。必要に応じて、特定の場面を繰り返し学習することも可能です。



シーンを選びリアルな感情を体験

- 学習者が集中しやすいシンプルな空間で感情が表れた場面を体験します。
- 3つのシーンが設定されており、体験する順番を選べます。



クイズ形式で感情を推測

- リアルな場面で感情を推測するクイズを行います。
- 職場、家庭、友人関係の3つの場面で、登場人物に表れる感情を推測します。
- クイズの解答によってその後の展開が変化します。



声に出して共感を練習

- 共感の言葉を伝える練習をします。
- 難易度別に発話練習を3回行い、最終的に自分の言葉で言えるようになることを目指します。



ステップで、感情の理解を深めていく。

トレーニングを効果的に進める専用ツール

準備するもの



VRゴーグル

学習者一人につき1台を用意します。



iPad

VRゴーグルの操作に使用します。

※iPadは、米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です



ワークシート

セッションごとに作成されたワークシートを使用します。



活用の手引き

セッションの進め方を詳細に記した実施ガイドです。

学習者が自分のペースで取り組めるトレーニング設計

全体の流れと時間配分

セッションは1回45～60分で行います。

ワークシートでの予習・振り返りと、VR体験によるスキル学習で構成され、支援者は、その前後でトレーニングを効果的にサポートします。

5分

1

導入

今回のテーマについての紹介や、前回の振り返りを行います。

5-10分

2

予習

学習者自身がどの程度感情について理解しているかを確認します。



20-30分

3

スキル学習

学習者がVRを体験し、学習を進めます。



10分

4

振り返り

VR体験前と体験後を比較して、学んだことを確認します。



5分

5

まとめ・ホームワークの設定

要点をまとめ、次回までのホームワークを確認します。

「3つの強み」で、学習者と支援者に確かなサポートを

POINT 1

感情を学ぶのに最適なVR映像体験

VRによる実際の人と接しているような映像体験によって、相手の表情・声・仕草など、リアルな感情を学ぶことができます。

POINT 2

精神科専門医と映像制作のプロによるクオリティ

コンテンツ制作責任者である精神科専門医と2名の監修医師、映像制作のプロが作り上げた、新しいトレーニングプログラムです。

POINT 3

SST VRと組み合わせることで多様な支援が可能

本トレーニングとソーシャルスキルトレーニングVRを組み合わせることで、学習者のニーズに合わせた多様な支援が可能になります。

監修者のコメント



東邦大学医学部
精神神経医学講座・
社会実装精神医学講座 教授

根本 隆洋 先生

社会認知を改善させる取り組みへの注目が高まっています。本プログラムの普及によって、社会的困難感を持つ精神疾患当事者の社会復帰・参加が促進されることを期待しています。



株式会社ジョリーグッド所属
上級医療統括顧問
精神科専門医

蟹江 絢子 先生

相手の感情を推測して、それに合わせて対応することは対人関係の構築において非常に大切なことです。まさに必要としたその支援がすぐにできます。

※本システムは医療機器ではありません。本システムは感情認知トレーニングの実施(トレーニング)を目的とするVRを用いた支援プログラムです。

FACE DUO
感情認知トレーニング

販売会社 **大塚製薬株式会社**
〒108-8242 東京都港区港南2-16-4
<https://www.otsuka.co.jp/>

開発会社 **株式会社ジョリーグッド**
〒103-0006 東京都中央区日本橋富町10-13
WORK EDITION NIHONBASHI 701
<https://jollygood.co.jp>

サービスの
詳細はこちら
FACEDUOサイト



2023年10月作成
FD2312190(11175)JG